

名作を味わう 大人の朗読会 Vol.4

2019年 3月9日(土) 受付 18時15分 開演 18時45分
場所 上田駅前ビルパレオ 4F 上田情報ライブラリー ことばの繭ホール

時代小説の巨匠「山本周五郎」の穏やかさの中にも熱情を込めた物語と「芥川龍之介」のナントも不思議なお話をお楽しみ下さい。

朗読 駒村則子

プログラム

【仙人】 芥川 龍之介

あらすじ

大阪に奉公に来た権助は、口入れ屋の番頭に仙人になりたいと相談する。紹介された医者 of 女房から「うちで働けば仙人になれる術を教えてやる」と言われるが、権助の運命やいかに。

【二粒の飴】 山本 周五郎

あらすじ

母親の真の愛情とは何か。嫁ぐ娘に祖母の生き方を伝える母の語りで構成された物語。

『山本周五郎』

(1903-1967) 山梨県生まれ。小学校卒業後、銀座の質屋で奉公し、後に筆名としてその名を借りることになる店主・山本周五郎の庇護のもと、同人誌などに小説を書き始める。次々と名作を発表し、人間に対する深い愛と洞察力で多くの読者の支持を得た。



駒村 則子 (こまむら のりこ)

プロフィール

フリーランスアナウンサー (一社)日本朗読検定協会プロフェッサー
上田市出身

東京でOL生活を送りながら声優養成所などで学び、声の仕事始める。その後、長野県内各局テレビ番組レポーター、ナレーター、司会者として仕事に従事。語学力を生かして、国際イベント開催時の英語アナウンスや英語ナレーションも担当。「日本朗読検定協会 長野県指導者会」の朗読イベントや、「朗読かたばみの会」のメンバーとしても活動中。

申込：2月22日(金)～上田情報ライブラリーにて受付 電話 29-0210 (休館日 火曜日)

入場料：800円 高校生以下無料(要予約) 定員：70名

お問合せ：上田図書館倶楽部事務局 電話 25-3115

市営上田駅お城口第二駐車場をご利用の方は混雑する場合がありますので、お早めにお出かけください。
黄色い駐車券をお持ちください。